

雲北陵月報

No. 473

令和7年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



巳年

中学教頭 手 銭 修 司

新年あけましておめでとうございませす。令和7年がスタートしました。「1年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さんの中にも新年の抱負・目標を正月に立てた人もたくさんいることでしょう。しかし、年は新しくなりましたが、学校としてはまだ3学期が残されています。3学期は学年の仕上げの学期です。最後の締めくくりを大切にしてください。

さて、今年が巳年です。「巳」は昔から縁起の良い生き物で神として崇められ、また十二支では植物に種子ができた時と考えられています。こういったことから「巳」は「始まり」「起こり」という意味を持っているように、巳年は何か新しいことが始まったり、起こったりする年になるようです。

そこで過去昭和から平成にかけて、巳年に国内外でどういったことが始まり、起こったのか調べてみました。

昭和4年：世界恐慌の起こり

昭和16年：真珠湾攻撃・太平洋戦争開始

昭和28年：朝鮮戦争休戦協定成立

昭和40年：ベトナム戦争北爆開始

昭和52年：原水爆禁止世界大会開催

平成元年：冷戦終結・ベルリンの壁崩壊

平成13年：アメリカ同時多発テロ発生

平成25年：アベノミクス・異次元緩和

こうしてみると、聞いたことのない出来事もあるかもしれませんが、巳年は国内外でその後の社会を大きく変えていく出来事が起こっています。令和初の今年が巳年でも、大きな出来事が起こり、社会が変化する年になるのでしょうか。

皆さんには、良い方向での大きな変化があればいいですね。その変化を足がかりに飛躍する年としてください。私自身も新年の抱負・目標を正月に立てました。これを達成するために日々努力し、この1年が良い年になるようにしていきたいと思えます。

男子ソフトテニス部

13年ぶり2度目全国選抜大会出場決定!

第50回中国地区高等学校選抜ソフトテニス大会

時 1月17日~19日
於 福山通運ロースアリーナ

団体メンバー(川角光夢(22歳)・三上瑛大(15歳)・高木映瑠(14歳)・山下椋人(16歳)・河野穂希(13歳)・仲津想大(13歳)・三島綾太(12歳)・金森剛士(13歳))
各県1位リーグ 3位(2勝2敗)
本校 3-1-0 米子松蔭(鳥取)
本校 0-1-3 岡山理附(岡山)
本校 2-1-1 南陽工業(山口)
本校 0-1-3 清水ヶ丘(広島)
全国選抜代表決定戦

○大会総評
年末、年明けと全国の上位校との練習試合を重ね挑んだ中国選抜大会において、松江工業との決定戦を制し全国選抜大会への切符を手にした。ほとんどが1年生という若いチームの中、唯一の2年生であり主将の川角を中心に粘り強い戦いができた。まだまだ全国の上位校との差はあるが、残りの期間をしっかり準備したいと思う。保護者、OBの方々などたくさんの方のご支援、ご協力のおかげであると感謝しています。この結果に満足することなく、全国選抜に向けて精進したいと思います。(顧問 佐々木雄志)



女子ソフトテニス部

第50回中国地区高等学校選抜ソフトテニス大会

時 1月17日~19日
於 福山通運ロースアリーナ

団体メンバー(落合・栗原・杉谷・高野・曾田・森田・井上・那須)
1位校リーグ 4位(1勝3敗)
①本校 3-1-0 岩国商業
②本校 1-1-2 広島翔洋
③本校 1-1-2 米子松蔭
④本校 1-1-2 就実

○大会総評
全国選抜を目指し全力を尽くしたが届かなかった。次は夏の全国大会を目指し精進して欲しい。当日はたくさんの方の応援有難うございました。(顧問 金森 快)

卓球部

第68回中国スポーツ賞小野泰和(5歳)受賞

2024年に国内外で活躍した中国地方ゆかりのチームや選手に対して中国新聞社が贈る「第68回中国スポーツ賞」に、今年度の全国高校総体インターハイ) シングルスで優勝した小野泰和が選出された。



令和6年度島根県児童生徒学芸顕彰式

時 12月26日
於 サンラポーむらくも

【合唱部】【吹奏楽部】

令和6年度島根県児童生徒学芸顕彰を受賞
合唱部が全日本合唱コンテスト全国大会で銅賞、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールで銅賞、全日本マーチングコンテスト全国大会で銀賞を受賞したことにより、島根県児童生徒学芸顕彰を両部が受賞した。式には、合唱部部长三島千央(36歳)、吹奏楽部部长の立花蒼(37歳)の2名が出席し、県教育長より学芸顕彰を授与された。

全国大会優勝記念モニュメント建立

令和5年度全国高等学校選抜大会優勝、令和6年度全国高校総体男子シングルス優勝を記念して、本校中庭にモニュメントを建立した。

平成16年4月に創設した卓球部は、創部20年目となる令和5年度全国高校選抜大会で悲願の全国大会初優勝を成し遂げると、令和6年度インターハイにおいても小野泰和がシングルスで優勝を飾り、日本高校卓球界に新たな歴史を刻んだ。「戮力協心」という言葉には「心を一つにして協力し合う」という意味があり、創部以来着実に歩みを進めてきた本校卓球部の精神を表している。今後も更なる飛躍を目指して邁進していきたい。



男子バスケットボール部

令和6年度島根県高校新人大会

時 1月11～13日
於 松江工業高校他

2回戦 本校 95-47 平田
準々決勝 本校 87-56 浜田商業
準決勝 本校 89-65 松江西
決勝 本校 79-86 松江東
準優勝 本校

○大会総評 崎原匠海(23歳)

今シーズン最初の県大会公式戦が松江市にて開催された。本校は2回戦からの出場となった。昨年末の県選手権から下級生主体にチームを編成していたため、優勝を狙って今大会に臨んだ。

準決勝まで高さを生かし危なげなく勝ち上がった。決勝の松江東戦は、序盤から流れを捕まれそうになることを辛抱し、なんとか前半1点リードで終えたが、後半は相手の勢いを止めることができず、7点差で惜敗した。

結果は準優勝となったが、来月、岡山県で開催される中国新人大会へ島根県代表として出場することが決まった。今後、中国大会、6月の県総体に向け更に成長したチームで戦えるよう、日々の学校生活や練習に打ち込む姿勢などを見直し精進していきたい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、学校教職員の皆様、保護者の皆様にご協力いただきまして誠にありがとうございました。感謝申し上げます。(顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

令和6年度島根県高校新人大会

時 1月11～13日
於 松江商業高校他

2回戦 本校 63-45 三刀屋
準々決勝 本校 41-59 松江農林
5位決定戦 本校 75-61 大社
5位

卓球部

第34回西日本高校選抜卓球大会

時 1月4・5日
於 カミアリーナ

○大会総評

三刀屋戦では相手チームのディフェンスに苦しみ思うような展開に持ち込めなかったが、リバウンドをよく頑張り勝つことができた。松江農林との試合では、前半こそ何とか喰らいついでいくことができたが、後半失速し得点を取ることができず、今後の課題となった。当日、応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、誠に有難うございました。(顧問 篠原勝利)

優勝 出雲市選抜(本校生徒5名)
2位 国スポ選抜
(本校生徒2名および他校生徒2名)
3位 出雲北陵
(男子団体)

優勝 小野泰和(35歳)
2位 黒田昌秀(35歳)
3位 肖 駿駿(23歳)
○大会総評

新年最初の大会であったが、それぞれの課題が多く見つかった大会となった。今後の練習で克服していきたい。

(顧問 相場翔太)

令和6年度島根県卓球選手権大会

時 1月11・12日
於 カミアリーナ

優勝 出雲北陵中高A
(小野・黒田・福田・小林)
2位 出雲北陵中高B
(三好・大村・肖・金丸)
3位 出雲北陵中高C
(濱田・田中・村中・波多間)
(男子シングルス)
優勝 小野泰和

2位 黒田昌秀
3位 肖 駿駿、金丸 陽(12歳)
(男子ダブルス)
優勝 小野泰和・黒田昌秀組
2位 三好蒼空(12歳)・金丸 陽組
3位 大村 心(22歳)・肖 駿駿組
濱田都希(34歳)・村中悠海(35歳)組
○大会総評

上位を独占することができたが、「心・体・智」のすべての面において課題は多い。今後の練習で課題を克服していきたい。(顧問 古瀬泰之)

サッカー部

島根県高校サッカー新人大会

時 12月21日
於 出雲工業高校

1回戦 本校 0-0 1 0 1 0 2 2 浜田商業、江津工業
○大会総評

悪天候の中で迎えた初戦は9人での出場となった。相手よりも人数が少ない分一人ひとりの運動量をあげることでもカバーしかなかった。選手達は果敢に相手に挑み、人数の少なさを感じさせない動きをしてくれた。しかし、後半残り20分に失点してからは持ち直すことができず、相手の見事なヘディングで立て続けに失点してしまい、0-2という結果で試合を終えた。

不測の事態ではあったが、収穫も多くあり、今後につながる試合となった。これから浮上していきたいように、選手達には更に奮起してもらいたい。応援に来ていただいた保護者の皆様、有難うございました。(顧問 今川恵人)



いた保護者の皆様、有難うございました。(顧問 今川恵人)

合唱部

第28回ウインターコンサート

時 12月21日
於 ビッグハート出雲

去る12月21日ビッグハート出雲において第28回ウインターコンサートを開催した。当日は、テーマソングであるアンパンマンのマーチを皮切りに、クリスマスソングや「LOVE」コンクール曲など15曲を歌い上げた。中でも女子部員による初めての女声合唱ステージでは、選曲から曲作りまですべてを自分達の手でやりとげ、ダンス付きの曲を含め、見事なステージを繰り広げた。男声合唱も聞きたかったという会場の声も聞かれ、3年生にとっては3年間の集大成でもあり、このほかに思い入れも強いコンサートであったが、その役目を立派に果たし、無事に卒部を迎えた。

4月からこのコンサートまで、多岐にわたって支え、応援していただいた保護者の皆様、先生方、地域の皆様から感謝申し上げます。本当に有難うございました。(顧問 布野浩志)



吹奏楽部

第48回全日本アンサンブルコンテスト県大会

時 12月22日
於 石中央文化会館大ホール

本校からはフルート4重奏とトロンボーン4重奏の2チームが参加した。本番では美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。結果、両チームとも金賞を受賞し、フルート4重奏は島根県代表として、2月にとりぎん文化会館梨花ホールで行われる中国大会への出場権を獲得した。

中国大会では、更に質の高い演奏ができるよう精進していきたい。

フルート4重奏 金賞・県代表
スキー・シンフォニー/F.ジャンジャン
トロンボーン4重奏 金賞
3つのシャノンソン/C.ドビュッシー

第18回ウインターコンサート

12月28日

昼の部…14時開演
夜の部…18時30分開演

於 出雲市民会館大ホール

18回目を迎えて「ウインターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の一年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなる。このコンサートに向け、生徒のみならず保護者会も一丸となり、演奏会の成功を目指し練習と準備を重ねて本番に臨んだ。1部の吹奏楽ステージでは本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を中心に構成した。2部では、アンサンブルコンテストで披露したフルート4重奏の演奏を行った。島根県を代表するに相応しい立派なステージであった。

3部では、「レ・ミゼラブル」をテーマにステージドリルを行った。部員のみならず、保護者の皆様のご協力で、スペクタクルなショーとなった。部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は1400名を超えるお客様にご来場いただき、盛大に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

出雲北陵高等学校OB吹奏楽団 第2回定期演奏会

1月5日

開場13時20分 開演14時
於 出雲市民会館大ホール

令和4年4月に、本校吹奏楽部創設者である片寄哲夫先生がお亡くなりになり、先生からご指導をいただいた卒業生を中心に、片寄先生をお慰めしたいという想いから、昨年よりOB会の活動として定期演奏会を行うこととなり、本年第2回

目となるコンサートを開催致しました。平成3年に創設から本年3月卒業生が32期となり、600名を超える会員が在籍しています。本番出演したメンバーには、遠くは北海道・東京から参加し、総勢89名の演奏者、スタッフを含め100名を超えるメンバーでの演奏会となりました。

当日は800名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏のうちに無事終了することができました。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも片寄先生からの教えを胸に、母校並びに本校吹奏楽部の活動の一助になるべく活動していきたいと考えています。今後とも本校吹奏楽部OB会の活動にご理解ご支援のほどよろしくお願い致します。

出雲北陵高等学校吹奏楽部OB会
事務局長 竹内康貴

美術部

インターハイなぎなた競技
ポスター図案募集 表彰式

1月23日



来年度開催されるインターハイなぎなた競技ポスター図案募集に応募したところ、3年生の嘉儀さんが最優秀賞を、勝田さんが優秀賞を受賞し、出雲市役所で表彰を受けた。

嘉儀夏実 (37姓)
勝田愛弓 (37姓)
(顧問 石倉 正)

第60回全国高等学校家庭科食物調理技術検定

12月21日

於 本校
(2級合格者) 濱屋瑞妃(21名)
福田星波(21名)、板橋咲季(22名)

一斉書写

1月10日

新年の決意を新たにし、今年度3回目となる「一斉書写」を1月10日に実施した。3年生にとっては最後となる本校の伝統行事であったが、各々が集中して取り組み、貴重な時間を過ごすことができた。生徒達の更なる活躍、飛躍を期待したい。

創立者 水谷キワ先生 命日 墓参

命日 墓参

本校創立者である1月16日、生徒を代表して中学校新生徒会長黒田志重(20名)、高校新生徒会長落合稀音(25名)ら5名で大念寺を訪れ墓参をした。新生徒会として出雲北陵中学・高等学校の更なる発展に向け、改めて決意を強くした。



乙案内

美術・CGデザインコース

第24回卒業制作展

2月8日(土) 9時~17時
2月9日(日) 9時~16時

場 所…出雲文化伝承館
縁結び交流館(出雲市浜町520)
入場料…無料
多数のご来場をお待ちしています!



第24回出雲北陵高等学校卒業制作展

音楽コース

本校音楽コースが左記のコンサートを開催致します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しください。

第32回卒業演奏会
2月8日(土)
13時30分開場 14時開演
場 所…ビッグハート出雲 白のホール
入場料…無料 ※整理券が必要です

中学校

男子バスケットボール部

第42回全関西中学生バスケットボール交歓大会
12月27日~29日
於 広島県立総合体育館グリーンアリーナ他

1回戦 本校 74-72 香東(香川県)
2位トーナメント 本校 44-97 マリノール学院(三重県)
1回戦 本校 57-44 NEXFEST(大阪府)
敗者戦 本校 45-58 滋賀大学付属(滋賀県)
○大会総評
普段試合ができない強豪チームと対戦することができ、とても良い経験となった。今後は中国新人大会に向けて練習に励みたい。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



卓球部

第54回後藤杯卓球選手権大会
(名古屋オーブン) カテットの部
1月11~12日
於 スカイホール豊田

(男子シングルス)
5回戦敗退 小林麟太郎(中2組)
4回戦敗退 隈本悠希(中社)
2回戦敗退 隈元慶真(中前)
○大会総評
住田光亮(中西)
悔しい結果ではあるが、選手の成長を確認することができた大会であった。次の大会に向けて頑張りたい。(顧問 相場翔太)

作品と研究

中学校書初め作品より

中学校で毎年恒例の書初めを実施しました。今年の目標や抱負を漢字二字で表したり、今年は何んな年になるのか、どんな年になってほしいのかを漢字一字で表したりしました。1年生は初めての行書でしたが、一生懸命取り組みました。中学生の力作を紹介します。



「挑戦」

私が選んだ漢字は「挑戦」です。私はバスケットボールをしているけれど、勉強は苦手です。苦手を克服するために、今年は「挑戦」という言葉を目標にして頑張りたいです。バスケットボールでは練習を続けることで少しずつ上達し、勉強は毎日少しずつ復習し家庭学習を続けなければならないことを解決していきたいと思っています。「挑戦」は難しいことにも挑む意味があるので、この言葉を大切に努力したいと思います。



「日進」

今年、僕は「日進」をテーマに、寮生活と卓球で成長したいです。寮生活では仲間との関係を大切に、思いやりや協力が大切さを学びながら人間性を磨くのが目標です。卓球では、技術を向上させるだけでなく、試合中に冷静に考え、戦略を立てる力を養いたいです。毎日の練習を通じて、少しずつ着実に進歩し、人としても、卓球選手としても成長できるように努力を続けたいと思います。



「笑」

私が「笑」という漢字を選んだ理由は、笑顔を大切にすることを思っています。笑顔を大切にする一年にしたいです。来年は、来年度は受験生であり、学校を引っ張る立場になります。自分に余裕がなくなるかもしれないからこそ、笑顔を意識して周りの人と良い関係を築いていきたいと考えています。私は、生徒会の議長にならせてもらったので、学校全体が笑顔であふれるように頑張りたいと思います。



「決断」

2025年は、ついに3年生になる年です。3年生になったら、たくさんのお話を決断しないと行けないと思います。特に決断しなければならぬことは、進学する高校についてです。高校は、進学する学校によって将来が決まってしまうところもあると思います。私は、来年自分が自信を持って、この高校に行きたいと思えるように、よく考えて決断したいと思います。



「青春」

私は来年度、高校入試に合格すれば晴れて夢の高校生になります。この言葉を選んだ理由は、高校でたくさん青春したいからです。中学校では部活動などで忙しかったのですが、高校生になると、今よりやりたいことができるようになります。思うので、思いっきり好きなことをしたいなと考えています。もちろん人に迷惑をかけるようなことはしません。よく学びよく遊べ」を大切に頑張ります。



「縁」

私は今年、高校生になります。高校に入ると今とは全く違う環境で、同じ学年の新しい仲間や先輩方、先生方に出会います。経験したいことのない出来事ばかりで、失敗したり悩んだりすることもたくさんあると思います。しかし、そういったことも全て新しい出会いだと考え、そのことに出来る、そんな一年になってほしいと思います。「縁」という漢字を選びました。



今月の1枚「パズル」

第57回島根県高校美術展選抜作品

原 彩夏 (16歳)